少子化対策、若者定住に関するアンケート調査 報告書

(若者・子育て世代アンケート (男性))

平成27年8月

栗山町若者定住推進室

目次

I. 調査の概要	2
1. 調査の目的.....	2
2. 調査設計	2
3. 報告書の見方.....	2
II. アンケート結果.....	3
1. 回答者の属性.....	3
2. アンケート回答結果.....	8
3. 自由記述内容.....	28
III. 調査票（アンケート）	33

I. 調査の概要

1. 調査の目的

本町の人口は昭和 38 年の 24,572 人をピークに減少を続け、直近の平成 27 年 1 月 1 日現在の人口は 12,689 人で、この 10 年間で 1,836 人の減、12.6%の減少率となっている。

特に、これからのまちづくりを担う若者・子育て世代の減少が著しく、この 10 年間で 20～39 歳人口で 29.2%、年少人口で 23.0%の減少率で、将来にわたって活力ある持続可能なまちを維持していくために、若者・子育て世代の移住・定住の促進と少子化対策が喫緊の課題となっている。

このような状況を踏まえ、町内に居住している若者・子育て世代の方に結婚・出産の意識やワーク・ライフ・バランス、家計の状況などについてのアンケート調査を実施し、少子化対策や定住促進に向けた施策づくりの基礎資料として活用していくものである。

2. 調査設計

(1) 調査対象者	・町内に居住している 22～39 歳の男性 300 名 ・中学生以下の子と同居している男性 300 名	計 600 名
(2) 回答者数	120 名 (回収率 20.0%)	
(3) 調査方法	郵送でアンケートを配布、回収	
(4) 調査項目	・対象者の属性 ・結婚について ・子どもについて ・仕事と子育ての両立について ・暮らし (1 ヶ月の家計) について ・幸福感について ・自由記述 ※詳細は後掲の調査票を参照	
(5) 調査期間	平成 27 年 5 月 1 日 (金) ～平成 27 年 5 月 29 日 (金)	

3. 報告書の見方

- (1) 各項目のはじめに質問項目と共に示してある単純集計の n は、回答者数のことである。なお、無回答分は排除している。
- (2) 質問に対する回答は、1 つの場合といくつでもよい場合 (複数回答) があり、複数回答の場合、合計比は 100.0%を超えることがある。
- (3) 百分比は n を 100.0%として算出し、図表中では小数第 2 位を四捨五入し、少数第 1 位まで表示して示した。このため、百分比の合計が 100.0%に満たない、または上回る場合がある。図中、数値が表示されていないもの、回答項目に取り消し線が引いてあるものは皆無を示している。